

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel. 03(3349)8088 (広報直通)

2019年3月29日

「平成31年度東京都空き家利活用等普及啓発・相談事業」事業者に選定

- 昨年度に引き続きの連続選定で、実績を活かした取り組みを強化
- グループのネットワークを活用した空き家利活用等の相談受付と対応
- 自治体や金融機関等との官民連携による空き家対策事業をモデル化

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 磯貝匡志）は、東京都が公募した「平成31年度東京都空き家利活用等普及啓発・相談事業」の事業者の一つに選定されました。昨年度に続いての連続選定となります。新年度は、空き家利活用等の普及啓発活動において空き家所有者のみならず空き家予備軍にも対象を広げるとともに、自治体や金融機関等との連携を強化します。

都内には空き家が約82万戸*あり、今後も高齢化の進行に伴い、相続や施設入居等で空き家の増加が予測されています。空き家の増加は、周辺地域の居住環境や防災機能等にも影響を及ぼしかねないことから、その発生抑制・有効活用・適正管理の具体的な対策が望まれています。そこで都は、空き家利活用等の普及啓発とさまざまな相談に無料で応じるワンストップ相談事業を一体的に実施する事業者を公募し、ミサワホームが選定されました。

ミサワホームは、2015年から全国に開設している住まいの相談窓口「住まいるりんぐ Desk」の取り組みが評価され、2016年12月から2018年3月まで「平成28年度東京都相続空家等の利活用円滑化モデル事業」に、そして2018年5月には「平成30年度東京都空き家利活用等普及啓発・相談事業」の事業者に選定されています。2018年度は、相談会やセミナーを開催し2,400名以上の参加者を集めたほか、空き家対策のガイドブックを作成しイベントや営業拠点で配布する等の普及啓発活動を展開してきました。また調布市と合同で、同市在住の築15年以上のミサワホームオーナーおよびリフォーム顧客へアンケート調査を実施し、3割におよぶ住まいが将来空き家になる可能性が高い空き家予備軍であるとの調査結果も得られました。

そこで今回は、空き家所有者への利活用提案のほか、空き家予備軍に対する将来の空き家所有者となることへの注意喚起を強化し、空き家の未然予防を目的とした普及啓発活動に取り組みます。特に、空き家予備軍の多いシニア層に対しては積極的に訴求し、さらに、自治体や金融機関等との官民連携強化による空き家対策事業のモデル化を目指します。

ミサワホームは、今後も行政と連携した取り組みによって、空き家問題をはじめとした住生活全般の課題解決に貢献していきます。

*総務省「平成25年住宅・土地統計調査」より

■ミサワホームの実施する普及啓発活動計画

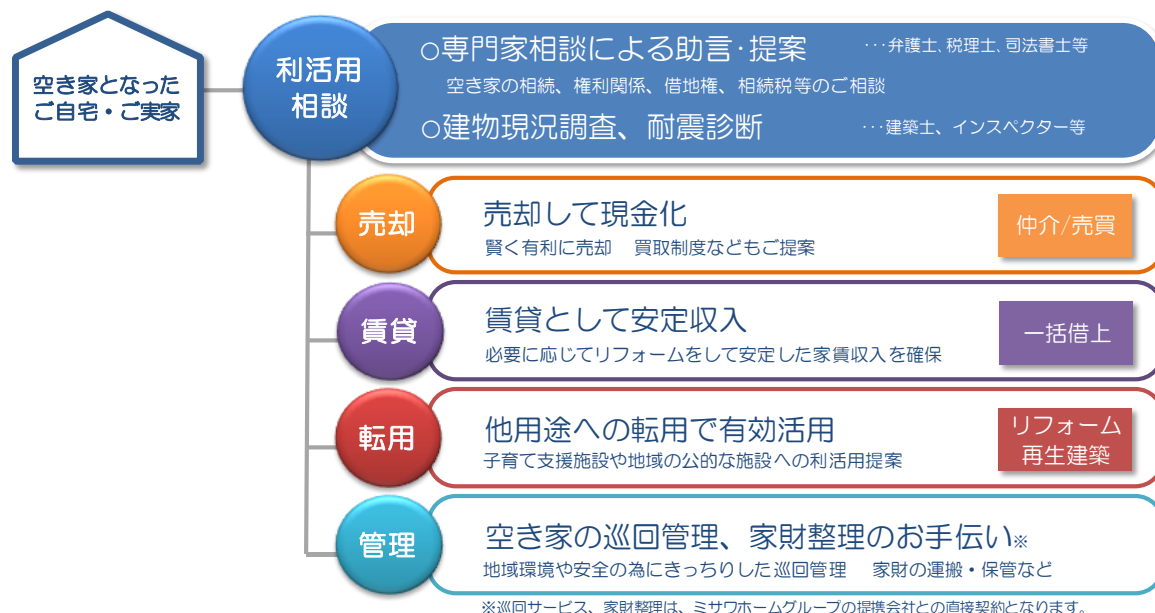
- ・ 自社 HP を活用した情報提供、および空き家対策ガイドブックを 2 万部配布
- ・ 4 万部のオーナー向け冊子への折り込みや、年 2 回の資産活用セミナー等での情報発信活動
- ・ 介護事業会社(株)マザアス関連の相談窓口で普及啓発活動や、セミナー、相談会を 4 回開催
- ・ ミサワホーム不動産(株)、および提携不動産業者と連携した普及啓発活動
- ・ 提携企業の従業員へ向けた勉強会や相談会等の普及啓発活動
- ・ 自治体や金融機関をはじめとした他団体との連携によるセミナーや相談会を 14 回開催

■住まいるりんぐ Desk について

住まいるりんぐ Desk は住まいに関するさまざまな相談をワンストップで受け付ける窓口として 2015 年に開設し、東京都をはじめ全国営業拠点に設置しております。各分野の専門家によるバックアップ体制のもと、受付窓口のスタッフが問い合わせ内容に応じて適切に対応するとともに、コールセンターによる 24 時間 365 日電話受付にも対応しています。

「平成 31 年度東京都空き家利活用等普及啓発・相談事業」では都内 8 か所に空き家相談の窓口を設置し、空き家の賃貸やリフォーム、建替え、売却等の相談にワンストップで対応、全国に広がるグループのネットワークを活用し、地方に空き家を所有する都民、都内に空き家を所有する地方在住者の相談も受け付けます。

■住まいるりんぐ Desk の「ワンストップ相談対応」イメージ



以上

この件に関する問い合わせ先

ミサワホーム(株) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課 奥本博之 麻生和広
TEL:03-3349-8088/FAX:03-5381-7838 E-mail:Kaduhiro_Asou@home.misawa.co.jp